

西淀病院

初期研修プログラム

地域から初期研修をはじめよう

*Nishiyodo
Hospital*



西淀病院

所在地：大阪市 西淀川区

病床数：218床

(一般110・回復期54・地域包括ケア54)

標榜科：内科 外科 産業医学科（職業病）
循環器科 整形外科 血液浄化室（人工透析）
消化器科 小児科 リハビリテーション科
呼吸器科 婦人科 放射線科
神経 泌尿器科 糖尿病

入院患者数

213.9/日('16)

外来患者数

54.0/日('16)

在宅管理件数(各診療所含む)

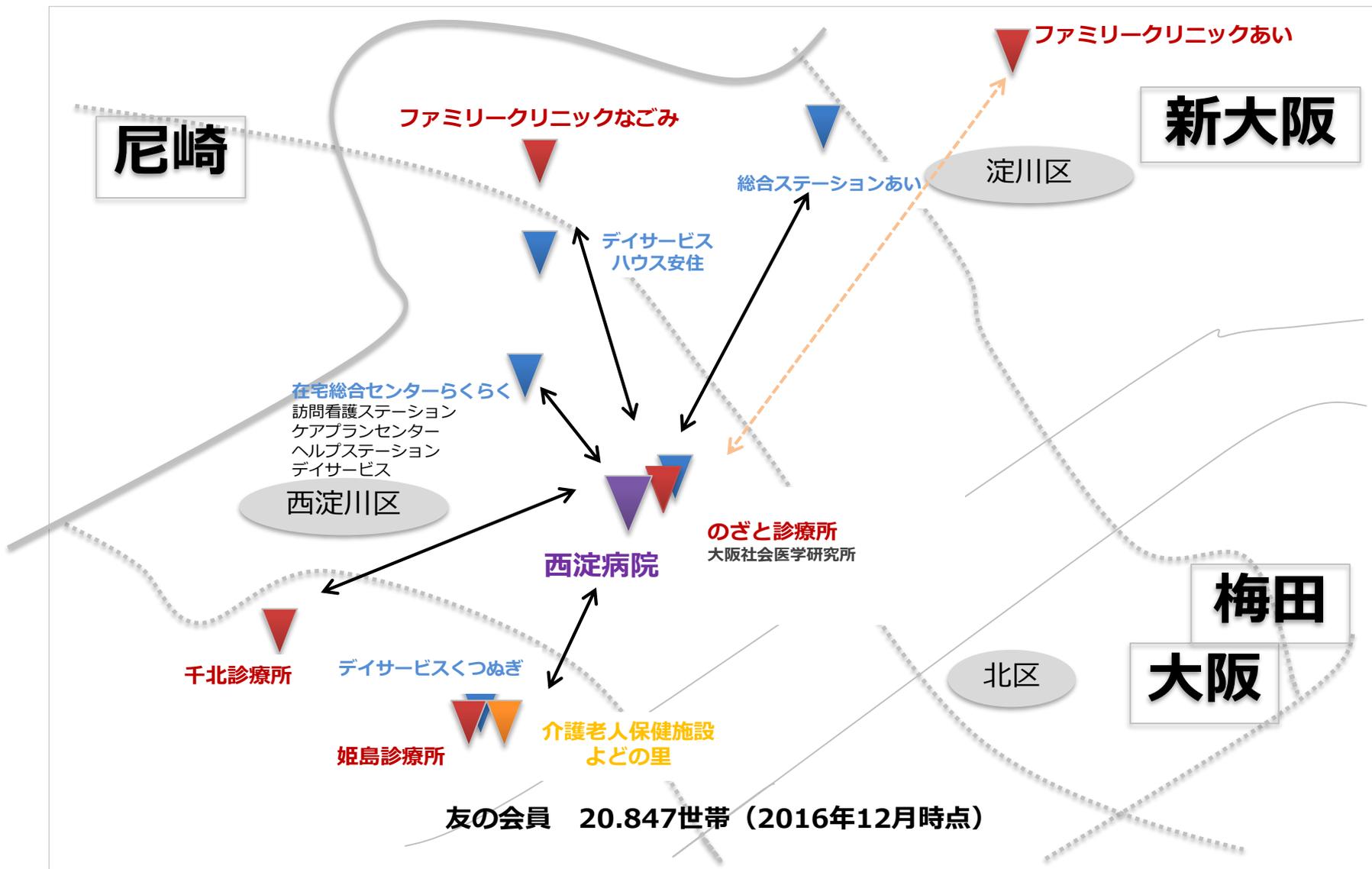
418/月('16)

救急搬送数

2493/年('16)



地域に根ざす医療展開



初期研修の特色

基本を重視

1年目は医療面接や身体診察、プレゼンテーションの技能習得を重視します。
定期的な試験も実施しています。

在宅医療にも関わる

初期研修から訪問診療などを経験します。
家庭医の診療所で、患者さんの生活に
目を向ける姿勢を養います。



他職種・地域

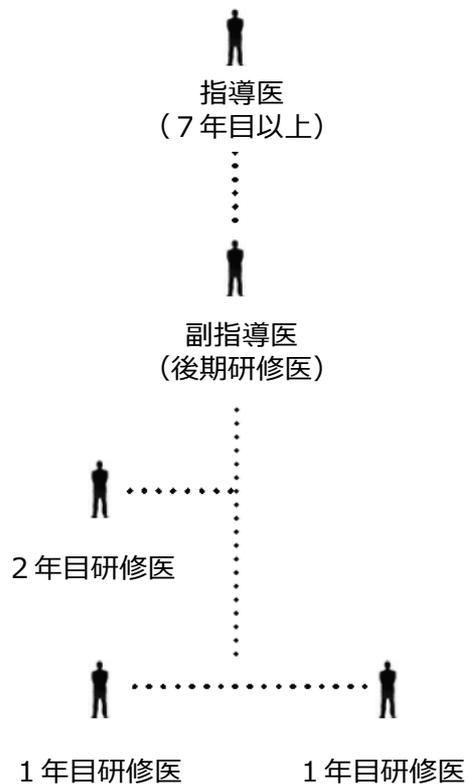
他職種や地域の方と勉強会や親睦会など通じて、深く広く関わります。
健康相談会や班会に参加するほか、他職種の同期と一緒に地域を知る活動にも参加します。

大阪家庭医療センターとの連携 (OCFP)

家庭医の後期研修プログラムと連携したプログラム設計になっています。



指導体制



屋根瓦方式

屋根瓦方式の指導体制をとり、
チームで診療にあたります。



同期と一緒の総合病棟

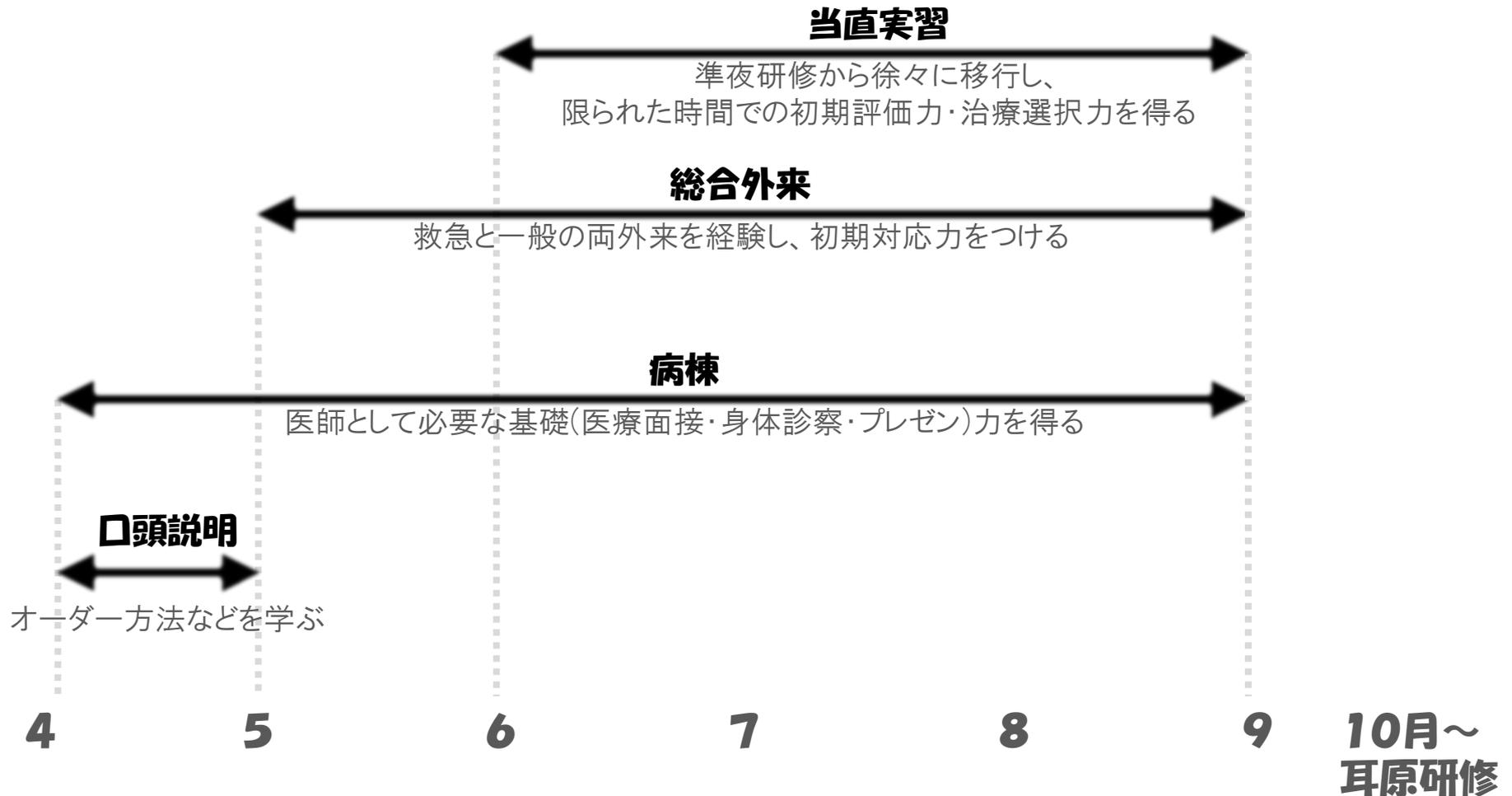
研修は総合内科病棟から内科をじっくり研修し
ます。

同期の研修医は同じ病棟からスタート。

年間スケジュール（例）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年 目		内科						救急	小児科		麻酔科	産婦人科	精神科	
		オリ		当直										
		西淀病院						耳原総合病院				吉田病院		
2 年 目		ER	外科		選択研修					地域医療	専門内科 (呼吸器・糖尿病・消化器)			
												往診		
		当直												
		耳原		西淀／耳原／尼崎 etc...					FCなごみ		西淀病院			

包括性と継続性を意識した1年目スケジュール



ある日の救急外来

年齢	主訴	診断	備考
17	少量下血	軽度裂肛	処方無し、帰宅
80	嘔吐・発熱	熱中症疑い	点滴加療→帰宅
62	咽頭痛	ウイルス性咽頭炎	自宅にあるカロナールにて対症療法を→帰宅
33	めまい 倦怠感	BPP疑い	PSG検査入院希望あり 予約取得し帰宅
53	下血、失神	憩室出血疑い	転送(〇〇病院へ)

担当症例（4月～9月）

年齢	性別	主病	合併症
73	F	緑膿菌肺炎	気管支拡張症、気管支喘息
74	M	腰椎圧迫骨折	骨粗鬆症、C型肝硬変
83	F	脳梗塞(脳塞栓)	肺炎、2型糖尿病
39	F	急性胃腸炎、下血	不眠症
62	F	腎盂腎炎	統合失調症
61	M	脱水、急性腎障害	意識障害（原因精査中）
97	F	帯状疱疹	急性尿路感染症
85	F	偽痛風	認知症
80	F	横紋筋融解症	腎不全、C型慢性肝硬変
70	M	前立腺炎疑い	統合失調症
79	M	閉塞性換気障害	アルコール依存症
80	M	肺炎	SAS、PCI後
39	M	アルコール性肝硬変	DM、アルコール依存症
69	M	モラキセラ肺炎	慢性腸管癒着症
81	F	腎盂腎炎	アルツハイマー型認知症、DM
22	F	急性口蓋扁桃炎	
55	M	左放線冠ラクナ梗塞	HTN、高TG血症
61	M	結核性髄膜炎	Af
79	M	薬剤熱	肝嚢胞、全身性蕁麻疹
86	F	誤嚥性肺炎	薬剤性パーキソニズム
88	F	腎盂腎炎、AMI	子宮外妊娠ope後、認知症
74	F	右下腿蜂窩織炎	DM、DL、HTN
46	M	多発通風性関節炎	HTN、HUA
71	F	両側腎盂腎炎	子宮筋腫
80	M	脱水症、腎前性AKI	認知症、陳旧性脳梗塞

年齢	性別	主病	合併症
39	M	胸腰椎圧迫骨折、骨粗鬆症	アルコール性肝不全
68	M	急性心不全	DM、HTN、OMI疑い
61	M	CPK高値、脱水	統合失調症、症候性てんかん
72	M	ACTH単独分泌不全	低Na血症、脊柱管狭窄
77	M	頸部脊柱管狭窄	腰部脊柱管狭窄
88	F	肺炎	ACOS
87	F	両側下腿浮腫	バセドウ病
74	M	両側下腿浮腫	C型慢性肝硬変
55	M	高血圧	喘息、OSAS
26	M	下肢蜂窩織炎	てんかん
61	M	横紋筋融解	尿路感染、貧血
56	M	大球性貧血	アルコール依存、縦隔腫瘍
76	M	出血性胃潰瘍	HP感染、腸骨囊腫
79	M	正常圧水頭症	頸椎症、腰部脊柱管狭窄、認知症
95	F	うっ血性心不全	認知症、神経因性膀胱
39	M	胸腰椎圧迫骨折、肝性脳症	アルコール性肝不全
80	M	失神発作	脳出血後、右片麻痺、失語、症候性てんかん
77	M	右下肢脱力	甲状腺機能低下、頸部脊柱管狭窄
26	M	髄膜炎(細菌性疑い)	
85	F	急性心不全	高血圧症、認知症
31	M	マイコプラズマ肺炎	気管支喘息
29	M	不明熱	
84	M	急性腎障害	前立腺肥大症、膀胱腫瘍
62	M	意識障害	パーキンソン症候群、てんかん、HTNなど
73	M	腸炎、敗血症性ショック	頸髄損傷

週間スケジュール例

	月	火	水	木	金	土
A M	教育回診		教育回診	教育回診	内科C C	
	新患C f 病棟	病棟	新患C f 病棟	総合外来	救外C f 病棟	病棟 (隔週)
P M		病棟C f				
	病棟	病棟	病棟	病棟回診	病棟	
		当直研修		内科C f 医局会議	週間ふりかえり	

病棟研修



やさしい主治医力

初期研修医が主治医として患者さんに接します。
1例ずつ指導医とディスカッションしながら診ていき、主治医としての力を身につけるプログラムです。

初期対応能力の習得

指導医とペアで週に1～2単位の総合外来に入ります。
診察後には指導医による全例チェックがあります。
診察終了後に症例のふりかえりを行ない、さらに週1回のカンファレンスでプレゼンテーションと検討を行ないます。

総合外来研修



当直研修



たしかな当直力

指導医とともに3名体制で入ります。

限られた時間で医療面接、身体診察から初期評価を行ない、必要な初期対応につなげる力を身につけます。

医学的な問題だけでなくQOLを意識して

指導医とペアで訪問し、患者さんを1～2名担当します。担当患者さんを中心に、生活や介護サービスへ関わる視点を養います。

訪問終了後には指導医とふりかえりを行ないます。

在宅医療研修



カンファレンス

院内カンファレンス

新入院患者（新患）カンファレンス

救急外来症例カンファレンス

病棟カンファレンス

デスカンファレンス

臨床倫理カンファレンス

C P C病理検討会



全職種がバックアップ

体験型オリエンテーション

将来地域医療を担う視点を持つ意味で、
診療所や介護施設の体験型オリエンテー
ションも行ないます。
他職種の同期と一緒に地域を散策します。



研修医ふりかえり発表会

研修3カ月修了時、10カ月修了時にふり
かえりの場と他職種からのフィードバック
の場として開催されます。

女性も働きやすい職場

出産・育児のサポートもしっかりと

「育児支援制度」で時差出勤や短縮時間勤務を活用し、病棟や診療所で働く医師もいます。研修医時の出産や育児もしっかりサポート。もちろん女医だけでなく、男性医師も子育て頑張ってます。



日本一、女性が働きやすい病院をめざして

西淀病院は女性医師も多く在籍しています。仕事もプライベートも充実できるように、その人らしい仕事ができるよう、サポート体制にも力を入れています。

定期の催し

身体診察ワークショップ

外部講師によるOSCEに参加します。



研修医症例発表会

近畿の民医連の研修医が集まり、1年間の研修の成果を発表・交流します。

初期研修医

出身大学

(2009年～2017年)

秋田大学	1名
埼玉医大	1名
福井大学	3名
三重大学	1名
滋賀医科大学	1名
関西医科大学	1名
大阪医科大学	2名
近畿大学	1名
岡山大学	1名
香川大学	1名
徳島大学	1名
高知大学	3名
久留米大学	1名
長崎大学	1名



福利厚生

給与

1年目 409,000円/月 2年目 429,000円/月

(家族手当、交通手当、当直手当など別途支給)

賞与

1年目 656,000円 2年目 952,000円 (2015年度実績)

当直代

1年目 10,000円 2年目 18,000円

休暇

有給休暇、4週6休、夏期休暇5日、年末年始休暇、生理関連休暇など・・・

学習環境

学会・研究会への参加保障 (2学会病院負担)

研修医机、研修医ルーム、図書室

医学生向け企画

地域医療セミナー

家庭医療のエッセンスと、臨床の現場で必要なチカラを知るチャンス。指導医・研修医とチームを組んで主治医として問題解決のアプローチを学びます。

過去の開催実績

2017年4月1日（土）	研修医体験
2016年12月18日（日）	在宅コース
2016年3月12日（土）	在宅コース
2015年5月2日（土）	在宅コース
2014年4月5日（土）	病棟コース

実習希望も随時受付中!!

学年を問わず、地域医療に興味のある学生に数多く参加いただいています。見学内容は希望に沿って決めます。お昼や実習終了後には医師を交えての交流会も。

地域医療・家庭医療に関心のある学生を対象に定期的にセミナーを開催しています。

